

平成27年8月23日
今週のベストショット



青松園A 奈多サンデーズ 対 新町ウインズ戦

昨年覇者奈多サンデーズ相手にサヨナラHRのウインズ一番永瀧選手（左）と2HR完投勝利の藤田投手（右）。

写真：奈多クラブ 今林賢人

青松園A ウインズ永瀧選手の劇的サヨナラHRで強豪サンデーズを撃破！

奈多サンデーズ（5勝3敗2分）4 1 0 0 0 0 0 5 塚本●ー土田

新町ウインズ（8勝2敗）0 1 0 2 1 1 1 x 6 藤田○ー今林

HR：川上（奈多サ）藤田2、永瀧（新町ウ） 3BH：桐島、永瀧（新町ウ） 2BH：野田（新町ウ）

盗塁：野田（新町ウ）

一回表、奈多サンデーズ川上選手の先頭打者本塁打を皮切りに一挙4点を先制。二回表もサンデーズ川上選手のヒット、二番野田選手の送りバント、その後PBで1点を追加。この時点で5対0とリード。強豪サンデーズだけにこのまま試合を有利にすすめていくと思われたが、二回裏に、新町ウインズ四番で投手の藤田選手のソロホームランで1点を返す。この後から、藤田投手のギアが上がり、サンデーズを0点に抑えていく。四回裏、再び藤田選手のホームランと桐島選手の三塁打、野田選手の二塁打で2点を返す。この四回裏の攻撃ぐらいから試合の流れがウインズに大きく傾いていく。藤田投手の好投、攻撃陣の粘りで、5対5に追いつく。ウインズナインのボルテージが最高潮に達し、七回裏（最終回）先頭打者、永瀧選手の思いっきり振り抜いた一撃がライトオーバーのサヨナラホームランで劇的勝利！今シーズン好調のウインズは、この勝利で優勝も夢ではない！

（記事：奈多クラブ 木伏陽一郎 写真：今林賢人）



好投手 サンデー塚本投手。



投打でチームを牽引する、ウインズ藤田投手。



パスボールでホームインする、サンデー川上選手。



サヨナラHRを放ったウインズ永淵選手。



本日のヒーロー 永淵選手（左）と藤田選手（右）。

奈多グラウンド フレンズ投打が噛み合い接戦を制す！

三苦フレンズ (3勝6敗) 0 0 0 1 2 1 0 4 生野○ー西山

レッドサンデー (3勝6敗) 0 0 1 0 0 0 0 1 江口●ー荒口

HR : 寺山 (三苦フ) 2BH : 西山 (三苦フ) 盗塁 : 生野 (三苦フ)

一回表三苦フレンズは、一番生野（拓）選手のヒットと盗塁でチャンスを作るもレッドサンデーズ先発江口投手の前に後が続かず無得点に終わる。対するレッドサンデーズは二番川原、三番神田選手の連続ヒットで一死一二塁のチャンスを作るが、こちらもフレンズ先発、生野（拓）投手の前に後が続かず無得点に終わる。二回も両チームランナーを出すも無得点。試合が動いたのは三回裏、エラーで出塁したレッド八番田村選手を三塁に置いて、このランナーを四番八島選手がレフトへきっちり犠牲フライを放ちレッドサンデーズが1点を先制する。このままレッドサンデーズのペースになるかと思われたが、そのムードを変えたのはフレンズの五番寺山選手だ。四回表の第二打席、放った打球はぐんぐん伸びレフトの頭を越えるHRとなり同点に追いつく。攻撃の手を緩めないフレンズは五回表に相手のミスと五番寺山選手の犠牲フライで2点、六回表に犠牲フライで1点を追加し、試合後半に相手を突き放した。対照的にレッドサンデーズはコントロールの安定しないフレンズ先発生野投手の前に7イニング全てでランナーを出すも要所を抑えられ三回以降ホームベースを踏むことができなかった。フレンズにとっては投打が噛み合い次の試合へ弾みのつく試合になった。反対にレッドサンデーズは挟殺プレーのミスで相手ランナーを生還させたり、飛び出して牽制アウトになるなど、次の試合までに修正したい課題が見えた。ミスは起こりうるし仕方ないがそのミスを減らしていくことは大事だと私個人に考えさせる試合となった。

(写真、記事：ブルーマーリンス 井手翔一郎)



緊張感漂う両チームの挨拶。



最後まで投げ切ったレッド江口投手。



七回1失点の好投を見せたフレンズ生野投手。



三回裏、八島選手の犠牲フライで生還するレッド田村選手。



同点HRに続いて犠牲フライを放つフレンズ寺山選手。



本日のヒーロー、2打点で勝利に貢献したフレンズ寺山選手。

雁レク軟式3 初回到猛攻したフェニックスが勝利！

三苦三球会 (6勝4敗) 10010 2 吉留●、堺(達) 一山崎

奈多フェニックス (5勝1敗2分) 90011x 11 池見○一実延(新)

HR: 高原(奈多フ) 3BH: 今林心一(奈多フ) 2BH: 堺太一(三球会)

盗塁: 高原(奈多フ) 渡辺(三球会)

先発は奈多フェニックス池見投手、三苦三球会吉留投手で試合は始まった。一回表三球会は、一番堺太一選手が右中間二塁打で出塁すると二番堺達也選手がキッチリ送りバントを決め一死三塁とする。そして三番浜口選手の左犠飛で三球会が1点を先制。一回裏フェニックスは、一番高原選手が内野エラーで二進。そして三・四番の連続四球で一死満塁となる。様子がおかしい三球会吉留投手は、投球の際に踏み出した右足が少年野球の投球プレートにかかり投球がしにくい状況であった。しかし両チーム同条件ということで試合は続行。そしてWP、エラー等で3点。再び一死満塁で七番今林心一選手が走者一掃の三塁打を打ち更に3点を追加。九番池見選手が四球となったところで三球会吉留投手は堺達也三塁手と交代となった。そして変わったばかりの堺投手から一番高原選手がレフト横を抜ける3ランを打ち、フェニックスはこの一回一挙9点の猛攻となった。二回裏から再び吉留投手がマウンドに上がる。四回表三球会は、五番上山選手がライト横にヒットを放つと七番船橋選手がセンター前タイムリーでようやく1点を追加する。二回以降三球会吉留投手は毎回走者を出すものの踏ん張り追加点を許さなかったが、四回裏フェニックスは、七番今林心一選手のセンター前と一番高原選手のレフト横にタイムリーヒットで1点を追加。五回裏、フェニックスは三番実延彰洋選手がライト前ヒットで出塁し更に1点を追加したところで時間切れゲームセットとなった。終わってみれば一回の猛攻でフェニックスが試合を決める結果となった。両チームとも同条件ということでいつもと違う状況の中で最後まで不満をもらさず踏ん張った吉留投手は素晴らしいが、チャンスにすかさず得点を重ねたフェニックス打線は見事だった。最後に私が主審を務め、試合を円滑に進めなかったことをお詫び申し上げます。(記事: 三友クラブ 駄原孝一郎、写真: 大坪和則)



奈多フェニックス先発の池見投手。



三苦三球会先発の吉留投手。



一回表、二塁打を放つ三球会堺太一選手。



一回表、送りバントを決める三球会堺達也選手。



先制となる犠牲フライを放つ三球会濱口選手。



一回裏、走者一掃の三塁打を放つフェニックス今林心一選手。



レフト前ヒットを放つフェニックス太田選手。



3ランHRを放つフェニックス高原選手。



センター前ヒットを放つフェニックス安藤選手。



二回表、一旦バックしながらも前に飛び込み好捕する高原選手。



二回裏、再びマウンドに上がる吉留投手に声をかける三球会山崎選手。



四回表、ライト横にヒットを放つ三球会上山選手。



四回表、センター前ヒットを放つ三球会船橋選手。



五回裏、ライト前ヒットを放つフェニックス実延彰洋選手。

青松園B 19安打、19得点の猛攻でパイレーツ大勝！

新町パイレーツ (6勝3敗) 56206 19 吉田○-桐島

ソルトベイスターズ (1勝9敗) 00401 5 中村(祐)●、中村(耕)-春田

HR: 山本、桐島、吉田、佐々木(新町パ) 荒尾(ソルト) 3BH: 吉田(新町パ)、中村(耕) 2(ソルト)

2BH: 佐々木、白岩(新町パ) 盗塁: 三重野、牟田(新町パ)

新町パイレーツは初回から、四番山本選手の本塁打など相手のエラーもあり5点を先制する。さらに二回表も一番桐島選手の本塁打から始まると、連打やエラーなどで6点を追加。パイレーツは三回表にも2点を追加し、吉田投手の好投もありパイレーツの圧勝かと思われたが、三回裏ソルト打線に捕まる。ソルトは一死から二番石井選手が右翼前安打で出塁すると、続く三番中村(耕)選手の中越三塁打で1点を返す。続く四番春田選手の中前適時打、五番荒尾選手の右翼への本塁打でこの回4点を返す。ここから巻き返したいソルトベイスターズであったが、反撃はここまで。ソルトは二番手で登板し、好投を続けていた中村(耕)投手が五回に捕まり、連打で一挙6点を奪われダメ押しとなった。終わってみればエラーもあったが、19安打、19得点でパイレーツの大勝となった。(記事、写真: 雁ノ巣ライナーズ 明瀬 旭)



ソルトベ이스ターズ先発の中村(祐)投手。



新町パイレーツ先発の吉田投手。



一回表、3点目のホームを踏むパイレーツ白岩選手。



この日4安打のパイレーツ白岩選手。



二塁打を放つパイレーツ佐々木選手。



三回裏、中前適時打を放つソルト四番春田選手。



三回裏、右翼への本塁打を放ちホームインする荒尾選手。

第17週編集後記

WSLの皆さん、こんにちは！

第17週、8月23日は4試合が行われました。

青松園Aの奈多サンデーズ対新町ウインズ戦は、一回表奈多サンデーズが川上選手の先頭打者HRを含む5安打で4点、二回にも1点を取り5-0とするも、二回裏から1点ずつ返すウインズは、5-5の同点で迎えた七回裏、ウインズ先頭の一番永渕選手がサヨナラHR！サンデーズを三回以降無安打に抑えた藤田投手は2HR。

奈多グラウンドの三苦フレンズ対レッドサンデーズ戦は、三回裏にレッド八島選手の犠飛で1点を先制するも、ことごとく走塁ミスでチャンスを潰す。一方フレンズは五番寺山選手のソロHRで追いつくと五回裏に守備の乱れと寺山選手の犠飛で逆転。投げては8四死球ながら完投で生野（拓）がピンチを抑え切り4-1でフレンズの勝利。

雁レク軟式3の三苦三球会对奈多フェニックス戦は、初回1点を先制した三球会だったが、その裏エラーと四球でランナーを溜め、WPやタイムリーで吉留投手が一回持たずにまさかのKO。代った堺達也投手からも一番高原選手がHRを放つなど初回9得点で勝負を決めた。久しぶりに登板の池見投手も三球会打線を2点に抑え、2-11でフェニックスの勝利。

青松園Bの新町パイレーツ対ソルトベイスターズ戦は、初回相手の連続エラーでチャンスを掴んだパイレーツは四番山本選手のHRに続いて五番吉田選手の三塁打などで5点。二回にも一番桐島選手、吉田選手のHRなどで6点。五回表にも佐々木選手のHRなどで大量19得点。三回裏にソルト五番荒尾選手の2ランなどで4点を返すものの、失点が多すぎた。19安打を放ったパイレーツが19-5で勝利。吉田選手は最終打席二塁打だったサイクルヒットだったが二飛で達成ならず。

話題に上がったサイクルヒットですが、長い日本プロ野球の歴史の中でも63人、のべ67回しか達成されていません。

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%B5%E3%82%A4%E3%82%AF%E3%83%AB%E5%AE%89%E6%89%93>

たださえ達成が難しいサイクルヒットですが、インングの少ないソフトボール（七回）で達成するのは至難の業です。

それもWSLでは1時間15分を超えて新しいインングに入らないというルールもあり、なかなか七回までいきませんし、なかなか4打席回ってこないときもあります。

WSLではサイクルヒットは主要打撃部門（HR、打点、首位打者、盗塁）と違い、特別表彰（1試合3HRなど）となります。

5年ほどHP作成をしていますが、この間に達成はたったの1回です。

<http://www.geocities.jp/wajirosoftball/H23.10.16.pdf>

たった1回の達成で年末の納会で表彰を受けられますので、皆さん挑戦してみてください。

チャンスは毎試合あります！

Get a Chance!